

ご 案 内

 **JLRF** 認定特定公益信託
日本白血病研究基金 Japan Leukaemia Research Fund

 **FLRF** 特定非営利活動法人
白血病研究基金を育てる会
Friends of Leukaemia Research Fund

ご挨拶



会長 飯田真作

NPO法人白血病研究基金を育てる会は、世界中の白血病研究基金をサポートする事により、白血病を撲滅する事を目的に設立されました。

不治の病と言われた白血病も、医学の進歩と共に助かる患者さんが増え、決して諦めなくても良い病気になりました。しかしながら、生死に係わる病気である事に変わりはなく、その治療は過酷であり、治療の副作用や体調管理に健康な人には解らない苦勞があります。

こどものがんの約半数は白血病ですが、母親から離れて、一人無菌室で闘病する乳幼児は、我々を信じています。高齢者の白血病患者は、過酷な治療に体力が持たない為、静観しながら病気と闘いながら新しい治療法を待っています。

世界中で今こうしている時も、多くの白血病患者さんが病気と闘っているのと同時に、熱意にあふれた白血病研究者が白血病撲滅の為の研究活動をひたむきに続けています。

是非、皆さまのお力で白血病研究者をサポートし、勇気付け、白血病撲滅に一步でも近づいて参りたいと願っています。

何卒、NPO法人白血病研究基金を育てる会にご理解、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

ご挨拶



専務理事 小川公明

私は、昭和54年より、移植時に必要な検査であるHLA検査の技術者として骨髄移植に興味を持っていました。

平成3年には、日本にも骨髄バンクが設立され、その後、不治の病と思われていた白血病も、かなりの患者さんの救命がかなうようになりました。

しかし、まだ多くの患者さんが亡くなっており、人類は、まだまだ白血病との続けなくてはならないと思っていたちょうどそのとき日本血液学会の白血病公開シンポジウムで「白血病の撲滅に尽力している」組織として日本白血病研究基金と出会う機会がありました。

私も、「白血病は必ず撲滅できると」信じており、すぐに飯田真作会長と意気投合し、平成17年の退職を期に日本白血病研究基金を育てる会に専務理事に就任しました。

私たち一人一人の力は小さいですが皆様と心をつなげて進んでいけば、より早い「白血病の撲滅の日」が迎えられると信じています。

■ 育てる会設立の目的

1992年に設立されたボランティア団体「日本白血病研究基金を育てる会」をその前身として、NPO法人「白血病研究基金を育てる会」は2005年に設立認可されました。

「白血病研究基金を育てる会」は、公益信託「日本白血病研究基金」を初め、世界の白血病研究者に対して研究助成などの支援活動を行う事で、白血病撲滅並びに安全で副作用の少ない治療薬・方法の研究に寄与すると共に、一般市民に対して白血病研究に関わる教育・広報活動を行い、また白血病患者の就労機会の拡充、職業能力開発の支援や心のケア等を通じて、白血病患者とその家族の生活の質の向上をもたらす事を目的としています。

■ NPO 法人としての事業内容

1. 白血病研究機関に対する財政的支援事業として、各種チャリティー活動を実施して公益信託「日本白血病研究基金」に対する募金活動を実施しています。
2. 白血病研究の教育・広報事業として、公開シンポジウムや、フォーラムを主催・共催しています。
3. 白血病研究の為に国際交流事業として、韓国血液がん協会や、英国白血病研究基金との交流を行っております。
4. 白血病患者の雇用機会の拡充または職業能力の開発を支援する事業の準備を進めています。
5. 白血病患者とその家族のための無料電話相談窓口の開催または支援事業として、「がん電話情報センター」の患者相談を支援しています。





認定特定公益信託「日本白血病研究基金」にご協力を

白血病に代表される血液関連のがんで亡くなる患者さんは、年間約2万人に達しています。こどものがんの約半数は白血病と言われ、高齢化社会を反映して高齢者の白血病が増加しています。白血病は胃がんのように外科的切除は出来ないため、抗がん剤・放射線療法・骨髄移植等、の方法を駆使して治療が行われています。

白血病の撲滅のためには、治療方法改善の為に臨床研究や、早期発見・再発予防、原因の究明の為に基礎研究が非常に重要です。

日本白血病研究基金は、白血病の臨床および基礎の研究を行う研究者に対して、毎年研究費を提供し、白血病撲滅への戦いに財政的支援を行っています。

認定特定公益信託である本基金は、厚生労働省の監督のもと受託者である銀行によって管理運営され、研究費授与者の選定には医学的専門知識を持つ運営委員があたっています。

1992年の設立以来、2018年までに432名の研究者に総額3億円を超える研究費の提供を行いました。今後、白血病研究に対してより力強い支援を可能にするため、本基金の財源の充実(設立時5000万円、募金目標10億円)が期待されています。

NPO法人白血病研究基金を育てる会は、公開シンポジウムや各種チャリティー活動を通じて、日本白血病研究基金の募金・広報活動を行っています。

寄付する

「日本白血病研究基金」への寄付



[寄付金振込先]

公益信託日本白血病研究基金 郵便振込 口座番号 00150-7-714770

本基金は認定特定公益信託のため、個人寄付者には所得税の一部寄付金控除が認められます。また法人に関しては寄付金の一般枠の範囲で損金算入が認められます。詳細についてはお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行リテール受託業務部 公益信託課「日本白血病研究基金担当」フリーダイヤル：0120-622372 (直通)

参加する

「白血病研究基金を育てる会」主催のチャリティーイベントへの参加



チャリティゴルフ・チャリティコンサート・チャリティCD販売・チャリティ子供乗馬会など、「FLRF(白血病研究基金を育てる会)」が主催するチャリティイベントへご参加いただくことが寄付につながります。イベント案内をご希望の方は、FLRFへメールか電話で連絡先を登録してください。

入会する

「日本白血病研究基金カード」に入会



入会金・年会費無料

日本白血病研究基金カードをお買い物の際に通常のセゾンカードやVISAカードとしてご使用頂く事で、一切のご負担無しでご利用額の1%が日本白血病研究基金に寄付されます。もちろん入会金・年会費は無料です。カードご利用額の0.5%(ポイント分)が自動的に「日本白血病研究基金」に寄付されます。さらに同額が社会貢献として(株)クレディセゾン社から「日本白血病研究基金」に寄付されます。つまりご利用額の1%が自動的に寄付いただける事になります。

お申し込みは、セゾンカードインフォメーションセンターにお問い合わせください。
フリーダイヤル 0120-24-8376





運営委員長
水谷 修紀
(東京医科歯科大学医学部名誉教授)

ご挨拶

白血病は小児がんの半分を占め、また今後成人／老人例の増加も予想される人類にとって深刻な病気です。欧米では英国の白血病研究基金、米国のLeukemia Societyをはじめとする民間の財団が白血病の克服に向けて立ち上がっております。

日本白血病研究基金は1992年に患者家族の寄付によって誕生した厚生労働省認可の特定認定公益信託基金です。その後草の根運動によって大きく成長して来ています。日本白血病研究基金は白血病専門医／研究者の育成のための研究支援や専門学会への協力などを通して白血病問題の根本的解決に向けた闘いを支援しております。

「市民の力で病気を克服する」という「医の原点」を象徴する存在として、これからも努力して参ります。

あわせて皆様の多大な御支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

基金設立の成り立ち

1983年5月、荻村孝氏(オギムラタカシ・32歳)が慢性骨髄性白血病との厳しい闘病生活の末永眠致しました。孝氏は大学卒業後アメリカに留学し、帰国して家業を継ぎ、結婚し、これから人生が開けるといふ矢先に発病し帰らぬ人となりました。

孝氏を失ったご両親の荻村一氏、和代氏(ハジメ、カズヨ)は、悲しみが癒されぬ5年の日々を送った後、「愛する息子を奪った白血病を撲滅し、同じ悲しみを繰り返させたくない。これからやっと社会のお役にたつという時に他界した息子の為に、何か息子の名前で社会に貢献したい。」という思いが浮かび、5000万円を基金として寄付したいとの考えが固まりました。

一方、東京大学病院の小児科医師として、白血病の子供達の治療に情熱を注いでいた水谷修紀氏(現東京医科歯科大学小児科教授・本基金運営委員長)は、専門的研究を希望して、イギリスの白血病研究の権威メル・グリーブス先生の門を叩き、1984年から86年まで留学しました。留学後、メル・グリーブス先生の研究施設は全て一般からの寄付で賄われているイギリス白血病財団が運営しており、その施設が日本人の水谷医師に研究の機会を与えてくれた事を知り感銘を受けました。

帰国後、水谷氏は民間からの寄付で国の手の届かないところをカバーし、やる気があって優秀な医師の研究を支える為に日本白血病研究基金の設立運動を始めました。

日本白血病研究基金は、荻村氏ご夫婦や水谷氏初め、多くの患者家族と医療従事者の白血病撲滅への熱意によって設立され、厚生労働省の認可を受け、その後多くの一般市民の方々のお力で成長を続けています。

本基金は白血病研究者を支え、励まし、患者さん、患者さんご家族を含む多くの一般市民の力を結集して白血病撲滅の為に力を注いでいます。

事業内容

- 1) 白血病研究機関に対する財政的支援事業として、各種チャリティー活動を実施して公益信託「日本白血病研究基金」に対する募金活動を実施しています。
- 2) 白血病研究の教育・広報事業として、公開シンポジウムや、フォーラムを主催・共催しています。
- 3) 白血病研究の為に国際交流事業として、韓国血液がん協会や、英国白血病研究基金との交流を行っております。
- 4) 白血病患者の雇用機会の拡充または職業能力の開発を支援する事業の準備を進めています。
- 5) 白血病患者とその家族のための無料電話相談窓口の開催または支援事業として、「がん電話情報センター」の患者相談を支援しています。

日本白血病研究基金概要

1. 目的および事業

白血病の研究に携わる研究者への研究助成を行い、医学の進歩発展に寄与するとともに、ひいては、白血病に苦しむ人々に、健康で幸福な人生をもたらすことを目的として、以下の事業を行っている。

- (1) 白血病に関する基礎的、臨床的分野の研究に携わる研究者に対する助成(以下、平成31年度予算現在)

「荻村孝特別研究賞」	200万円	1件
「一般研究賞(清水賞)」	100万円	1件
「一般研究賞(クレディセゾン賞)」	100万円	1件
「一般研究費(一般研究賞)」	50万円	4件

若手研究奨励賞：40歳以下(令和元年12月末現在)

「一般研究賞」	50万円	4件
---------	------	----

学会推薦者：日本血液学会、日本小児血液・がん学会

「一般研究賞(臨床医学研究賞)」	100万円	2件
------------------	-------	----

小児領域特別研究賞

「ザ・レジェンド賞」	100万円	1件
「毎日賞」	100万円	1件

- (2) その他、目的を達成するために必要な事業

2. 委託者 故 荻村和代

3. 受託者 三菱UFJ信託銀行株式会社 基金事務局 〒164-0001東京都中野区中野3-36-16
三菱UFJ信託銀行 リテール受託業務部 0120-622-372(直通フリーダイヤル)

4. 事業費 助成金総額 1,200万円

5. 機関

- (1) 運営委員 運営委員長：水谷 修紀 (東京医科歯科大学医学部名誉教授)

運営委員：稲葉 俊哉 (広島大学原爆放射線医科学研究所 教授)
金倉 譲 (大阪大学医学部 教授)
黒川 峰夫 (東京大学医学部 教授)
駒田 美弘 (三重大学 学長)
須田 年生 (熊本大学国際先端医学研究機構 機構長)
高久 史磨 (前日本医学会会長、東京大学名誉教授)
中畑 龍俊 (京都大学IPS細胞研究所 副所長)
堀部 敬三 (名古屋医療センター臨床研究センター長)
三谷 絹子 (獨協医科大学 教授)

※50音順掲載(2017年12月1日現在)

- (2) 信託管理人 中田 ちず子 (中田公認会計士事務所)

6. 設定時期等

- (1) 信託契約時期 平成4年7月17日
(2) 認定時期 平成29年9月8日(最終更新日)

7. 備考

応募用紙の交付および問い合わせ等については、受託者基金事務局が行っています。



認定特定公益信託

日本白血病研究基金 Japan Leukaemia Research Fund

〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5 TEL. 0120-622-372(直通フリーダイヤル)



特定非営利活動法人

白血病研究基金を育てる会 Friends of Leukaemia Research Fund

〒105-0001 東京都港区浜松町1-10-14住友東新橋ビル3号館5階
eメール leukemia@flrf.gr.jp ホームページ <https://flrf.gr.jp/>

TEL. 03-5776-0048 FAX. 03-5776-0046